

ダビデの星の起源

24/5/13 恵比寿マンデー



アリエル・マガジン : モッテル・バレストン先生の記事より

はじめに

- + 形は 六角形の星だが、ヘブル語では この印は「ダビデの盾」「マガン・ダビード」と呼ばれる
- + ユダヤ人のアイデンティティの象徴として広く使われている
- + ユダヤ人のアイデンティティの象徴として最初に使われたのは、七枝の燭台メノラー。2500年前から使われていたことが 考古学の発見によって判明
- + 紀元200年頃から建物や石細工に 「ダビデの盾」が使われ始めた
(600-700年くらいから定着)

起源に関する6つの説

①ダビデ軍が戦いの時 使った盾に この印が使われた。

：単純で 良さそうな説だが、裏付けとなる考古学的証拠も文書記録も無い

②12個の角部分があるので、12部族を表す

③ユダヤ教では、三角形の三つの角が 創造主、イスラエル、律法のつながりを示す。

メシアニック・ジューの中には、父、子、聖霊と

解釈する人もいる。



- ④想像力を発揮した説： 親切、愛、思いやりの三つ、名誉、献身、誠意の三つ
- ⑤この印の別名は「ソロモンの印章」であったという説。ソロモンが権威の印として文書に使用していた
- ⑥バビロン捕囚以前のヘブル文字を「原ヘブル文字」といい、現在のヘブル文字とは異なるものだった。ダビデ王の時代はこの「原ヘブル文字」が使われていた。

ダレット Δ ー>T

ダビデをヘブル文字で表すと
ヴ・ダレットの三文字

ダレット・ヴァ

ダレットが 二つ入っている。ダビデ王の時代 ギ
リシャ文字のデルタ Δ と同じ

二つあるダレットの内 一つを上下反転させる。それをもう一方のダレットと重ねると 「ダビデの盾」になる。

ダビデ王の時代ユダヤ人たちは、重なった二つのダレットを見れば、自分たちの王であるダビデを表す印だと分かっただろう。

私見では⑥が有力だと思うが、推測の域を出ない。メシア王国に この質問を持ち込もう。

イスラエルのための祈り 霊的戦い

中川師 24/5/10付け メールマガジンより

(1) 反ユダヤ主義は、究極的には神の計画に敵対するイデオロギーです。イスラエルを抹殺することは、キリストの再臨を阻止する方法です。クリスチャンは、世界中に拡大する反ユダヤ主義や反イスラエルの運動の本質は、「霊的戦い」であることを見抜く必要があります。

(2) 究極的な平和は、再臨のキリストによってもたらされます。イスラエルの祝福を祈り、ユダヤ人がイエス・キリストを信じて救われるように祈る人は、幸いです。